

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名	佐賀県立唐津商業高等学校定時制
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 最終学年では各種検定目標取得率を達成できた。今後いっそうの学年を通じた資格取得の奨励、基礎学力の定着に向けて、計画的な指導の必要性がある。 給食時間の変更等により、昨年度より喫食率は約2割増加し、一定の成果を上げることができた。さらに、望ましい生活習慣の形成、食の自己管理能力の育成に向けての取り組みに努めていきたい。 豊かな心を身に付ける教育並びにキャリア教育の充実をはかることで、勤労観、規範意識の育成につとめることができた。今後も、全職員の連携のもと、生徒の主体的な活動を取り入れ、学年を通じたキャリアパスポートの充実にか力を注ぎたい。
2 学校教育目標	幅広い知識と教養を身に付け、自ら考え行動する資質を育み、ふるさと唐津や我が国の発展に貢献できる人材(人財)を育成する。
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①学力の向上 わかる授業、考える力(論理的思考力)を身に付けて得る授業を実践し、生徒の学ぶ意欲を高め、適正な進路選択ができる学力の定着を図る。 ②商業教育の充実 「ホスピタリティマインド(気配りができる心の持ち方)」を会得するとともに商業生として差別化できるだけの専門的な知識とスキルを習得させる商業教育を実践する。 ③地域社会への貢献 常に社会貢献の視点をもち、常に学校の情報を積極的に発信しながら、学校教育活動全般を通じて地域社会と共存する取組を実践する。

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目								
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価(評価)		学校関係者評価		
	取組内容			達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎的な文字力・計算力の定着	○文字力テスト、計算力テストを年間各7回実施(前期4回、後期3回)	<ul style="list-style-type: none"> 文字力テストについては4級レベルを中心に漢字の意味を理解し、正しい漢字を書き、会話や文章の中で適切に使う能力を育成する。 計算力テストについては個別指導も含め、全学年、基礎的数学技能を身に付けられるように指導する。 今年度は4限目に実施時間を設定し、全学年が一つの教室に集合して受検する。また、事前学習や復習に取り組みさせることで、計画的な学習習慣の定着を目指す。 					教務主任 各教科主任 各担任
	○資格取得の奨励と合格率の向上	○検定試験を積極的に受検するよう促し、卒業までに4つの検定試験で3級以上の取得率80%以上 ○各種検定を少なくとも1回は受検させる。	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得に対する意欲を喚起するために、個別指導を実施する。 検定受検までのロードマップ提示や明確な目標設定を行う。また、職員間の情報共有を徹底する。 個々の実力に応じた受検に対応するために、習熟度別の展開授業など指導体制を整える。 					教務主任 各教科主任 各担任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○自然と接する機会を80%以上	<ul style="list-style-type: none"> 登校時や学校生活の中で、教員側から挨拶や声かけを積極的に行うことで、人とのふれあいの楽しさを伝え、生徒間に浸透させる。 					生徒指導主事 各担任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止への取組について組織的に対応できていると回答する職員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針を見直し、保護者へ周知をすすめる。 いじめ対応に関する研修・会議を年間2回以上行う。 生徒情報交換会を月に1回以上実施し、職員間で情報共有をすすめる。 					保健主事 教育相談係 各担任
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎年度末のアンケートで、「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」生徒100%(令和4年度達成、今年度も継続) ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間3時間以上	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習資料「佐賀語」の内容に対して、一問一答形式の自作プリントを用い、佐賀や唐津の事に興味を持つ契機となるように指導する。 郷土について学ぶ時間を前期2時間、後期1時間(講演会、講演会に準ずる映像など)実施する。 					佐賀を誇りに 思う教育推進 事業係
●健康・体づくり	◎「望ましい生活習慣の形成」	○十分な睡眠がとれている生徒50%以上 ○自身の健康保持のために、食事と運動と休養のバランスが大切であることを認識している生徒70%以上	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣状況アンケートを実施し、生徒の認識状況を把握する。 保健だよりや掲示物で啓発する。 保健指導を実施する。 講演会等により啓発する。 					保健主事 養護教諭
	◎「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える生徒75%以上	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりを発行し、食習慣の大切さについて積極的に情報を提供する。 教科担当者と連携して、食と健康に関する内容を取り扱い、指導する。 					学校栄養職員 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1ヶ月80時間以下)の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 学校閉庁日を設定する。 出退勤管理システムを定期的に点検し、定時出退勤を呼びかける。 					管理職
	○職員会議の効率化	○会議の効率化による職員会議の回数(月1回)維持及び各回の時間短縮	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画による回数の設定、資料の事前配付、及び担当者間で事前調整をすることで、会議の効率化を図る。 					管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目								
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	最終評価(評価)		学校関係者評価		主な担当者
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合100%以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域・企業等と連携した学校運営を行う。 学校ホームページ等を活用し、学校の魅力を積極的に発信する。 受検生向け説明会において広報活動に努める。 					管理職
○進路指導の充実	○職業観・勤労観の育成 ○キャリア教育の充実と希望進路の実現	○アルバイトの就労率70%以上 ○アルバイト先の訪問を実施し、責任者との情報交換を行う。また、生徒の働いている状況等について観察する。 ○卒業予定者の希望進路決定率100%	<ul style="list-style-type: none"> アルバイトを奨励するが、あくまでも学業を優先した指導を行う。 担任との情報共有を頻繁に行い、生徒の指導に生かす。 1~3年生についてはキャリアパスポート活用の充実を目指す。 					進路指導主事
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり								
5 総合評価・次年度への展望								